

重いな!!



相当F嬢の体に大蛇のように巻き付いている「かてーな!!」の重量はなんと約13kg!

↑チェーンカーは、耐熱ゴムなので、ライターの火をあててもびくともしない



チェーンだけじゃなく、カギも頑丈なものを用意したい。これはイスマエル製で、ピッキング対策も万全

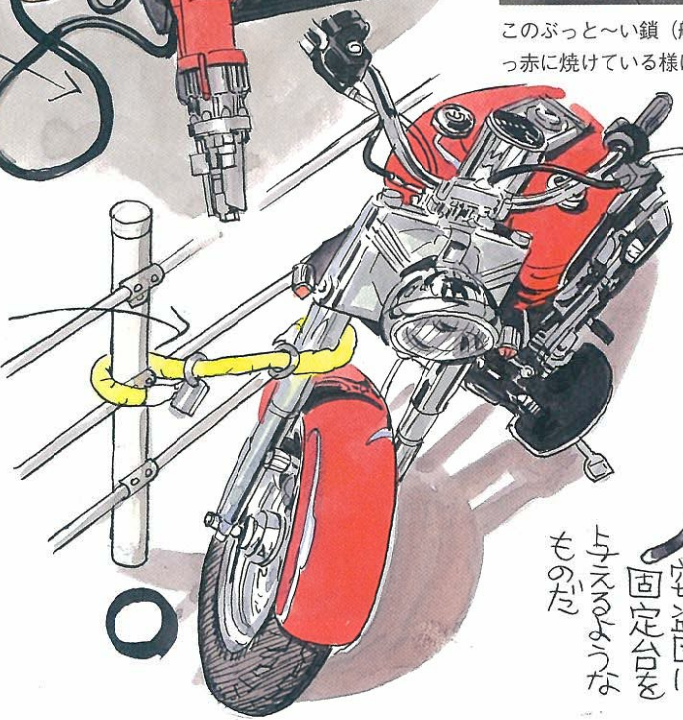


このぶっと〜い鎖（船舶用ネ）が真っ赤に焼けている様は壮観なのダ!

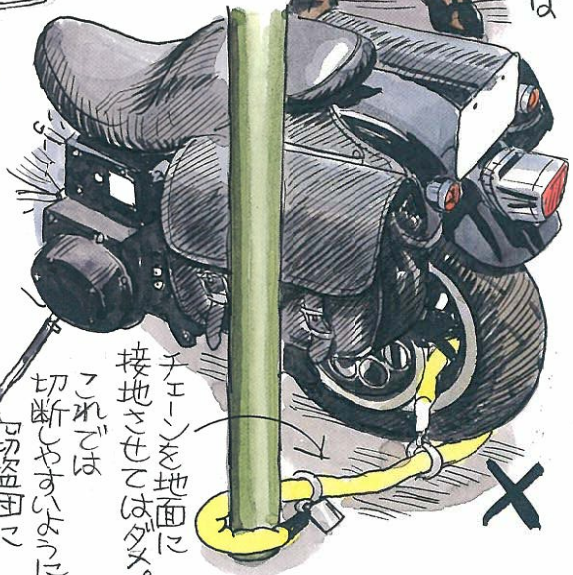
窃盗団はこんなカッターを用意しているんだから、ヤワなチェーンなんか、イッパツで切られちゃいますよ



4,5万円の手に入る電動カッター



チェーンはこのように宙に浮いた形に装着すれば、より切断しにくいなる



チェーンを地面に接地させてはダメ。これでは切断しやすいように窃盗団に固定台をよそへようなものだ

を組み合わせることで、切断に手間どらせる、これが『かてーな!!』の発想でありヒントです。まあ、構造については書かないで下さい(笑) 泥棒は、何よりも時間をかけることを嫌う。チェーンを切ったかと思うとまた別の切れない素材が顔を出して、そのたびに工具選別に四苦八苦…。どんなプロの窃盗団でも「かてーな!!」を切断するには1時間以上を要するという。路上に止めたバイクを1時間以上も音を立てていじっていたら、誰かしら不審に気づくはず、というワケだ。

「悲しいかな防犯グッズというのは、その特性からメーカー側も、小売り店も、お客さんに内容を詳しく明かさない。お客さんは店に勧められるがまま信じて安全を買うワケです。しかし鉄のチェーンにも中には粗悪品があって、例えば、いくら表面上は硬いものでも粘りがなければ衝撃に弱い。これなんか切らずにたたけば割れちゃうんだからガラスと一緒に。利益率を考えれば、コストの安い商品を勧めた方がお店ももうかるワケだから。これじゃ防犯にならないよね」

日本はこれまで100年以上も治安が保たれてきた国だ。泥棒は抜き足、さし足、忍び足で音もなく去るのがプロの仕事。なんていうのは昔の話。今は電動工具で手荒くやるのがグローバル・スタンダード。チェーンのみで安心はしてもらえません! 「かてーな!!」なら…。いやいや、言えません。オレも口がかてーな!!